

キウイフルーツ病害虫防除暦

J A中野市営農センター

散布日	散布時期	散布薬剤(水100ℓ当り)		収穫前 使用 時期	使用 回数 (以内)	散布量 ℓ/10a	対象病害虫	注意事項
月 日	3月下旬 発芽前	(水90ℓ) 石灰硫黄合剤	10ℓ	発芽前	—	300	カイガラムシ類	① 石灰硫黄合剤は隣接するハウ スビニールにかからないように する。 ② 【代替】 石灰硫黄合剤に代えてスプ レーオイル 100 倍(発芽前) でもよい。 ③ 剪定跡にはトップジンMペー スト(3 回以内)を必ず塗布する。
月 日	5月下旬 開花前	展着剤(ハイテンパワー) アルバリン顆粒水溶剤 アグレプト水和剤	10mℓ 50g 100g	前日 90 日前	3 回 4 回	350	花腐細菌病 かいよう病 カメムシ類	① 主幹部のコウモリガ食入はハ リガネ等で刺殺する。 ② 散布時期を厳守する。(開花前)
月 日	7月上旬	展着剤(ハイテンパワー) ダコニール1000	10mℓ 100mℓ	60 日前	7 回	350	果実軟腐病	
月 日	10月上旬	展着剤(ハイテンパワー) トップジンM水和剤	10mℓ 100g	前日	5 回	350	果実軟腐病	①収穫前の最終防除。 貯蔵・追熟中の病害の重要な防 除となります。

* 上記以外で、キウイフルーツに登録のある農薬例

農薬名	倍率	収穫前規制	使用回 数	対象病害虫	使用時期
フェニックスフロアブル	4,000	7 日前	3回	キイロマイコガ・ケムシ類	5月下旬頃
モスピラン顆粒水溶剤	2,000	7 日前	3回	カイガラムシ類	5月下旬頃
ベンレート水和剤	2,000	7 日前	5回	果実軟腐病	7月上旬頃
アディオン乳剤	2,000	7 日前	5回	カメムシ類・キイロマイコガ	7月下旬から8月下旬

時期	薬剤名	濃度	使用回数	注意事項
開花後20～25日 (6 月下旬～7 月上旬)	フルメット液剤	2. 5ppm (水4ℓに 10ml 瓶1本)	年間を 通じて 1回のみ	①果実浸漬、または果実散布 ②着果過多の場合、樹勢が低下す る恐れがあるため、適正着果量に する。
開花後25～30日 (6 月末～7 月上旬)	フルメット液剤	5. 0ppm (水2ℓに 10ml 瓶1本)		

* 処理が遅れると、肥大効果が十分ではなくなります。開花後30日までに処理してください。

* 早い時期に処理する場合は、濃度が濃いと変形果の発生が多くなるので注意しましょう。

6月～7月末で果実の大きさが決まります。土壌の乾燥や摘果遅れ等に注意してください。

混用例: 展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル(DF)⇒顆粒水和剤(WDG)⇒水和剤

安全・安心な農産物生産のために 防除・使用基準を厳守しましょう

当防除暦の複製・コピーを禁止します